

## 第1回都市計画分科会の意見要旨

| No | 分類                                | 意見等の概要   |
|----|-----------------------------------|--|
| 1  | パブリックコメント<br>(意見No.6-駐輪場)         | 駅前駐輪場の整備を求める意見であるが、長い間市の課題となっていた放置自転車はかなり解消されたと思うが、さらに利便性が高くなるように取り組んでもらえばよい。<br>(→[分科会当日回答] 自転車は自分で所有することが多かったが、環境への配慮や同じ規格の自転車であれば空間の有効活用も図れることから、シェアリングという方法もある。そうした手法については、現在策定中の尼崎市総合交通計画にも記載する。)   |
| 2  | パブリックコメント<br>(意見No.11-特にリスクの高い地域) | 地域ごとに災害リスクは異なるため、市の防災上の課題や対策については、客観的な分析に基づいた事実として、できるだけ多くの市民・事業者伝えていくことが重要である。<br>(→[分科会当日回答] 都市計画マスタープランや立地適正化計画だけではなく、尼崎市地域防災計画や尼崎市強靱化計画など他の防災に係る計画とも連携を図りながら、引き続き市民や事業者へ防災まちづくりについて周知・啓発を図る。)  |
| 3  | パブリックコメント<br>(意見数)                | パブリックコメントの意見が3人で計12件というのはちょっと少ないと感じるが、普及啓発のプロセスは適切だったのか。<br>(→[分科会当日回答] 市民意見聴取プロセスで市民等に意見を聴くタイミングは、三段階あり、計画を作っていく際、原案を見せず聴く第一段階、アンケートや市民説明会等で意見を聴く第二段階、それまでの意見を踏まえて作成した計画原案に対して意見を聴くパブリックコメントが第三段階となる。第二段階までの過程の中でも意見を十分聴いており、また審議会等の中に市民委員の方に入っていたなど多くの意見を聴けるよう工夫している。) |
| 4  | その他<br>(イラスト・デザイン)                | 紙飛行機をデザインに取り入れているコンセプトを計画書に記載した方がいいのではないか。また、人物のイラストについてダイバーシティの配慮が必要ではないか。<br>(→[分科会当日回答]「つなぐ」まちづくりのイメージとして入れていることを計画書に記載する。また、イラストについては引き続きダイバーシティにも配慮し、調整していく。)   |
| 5  | その他<br>(周知等)                      | 新たな計画を市民等に知っていただけるよう周知を進め、内容が更新される際は最新の情報として伝わるようにしてほしい。<br>(→[分科会当日回答] 計画策定後も直接市民等と関わる機会を設け、周知を図っていく。また、都市計画マスタープランの最新の情報を見ていただけるよう、計画書に当該ページにつながるQRコードを記載する。)  |
| 6  | その他<br>(周知等)                      | 駅前広場の工事などを行う際は、現地に完成パースを掲示するなどし、こういうまちになるというイメージを市民に持っていただき、意見をもらうことも必要ではないか。<br>(→[分科会当日回答] 阪神出屋敷駅の駅前広場については整備する際、現地に完成イメージを示すなどの取組を行った。阪神尼崎駅北側の中央公園リニューアル工事においても、完成イメージを持っていただき、そうした情報を広めてもらえるような取組を予定している。)   |